

解禁日程：2023 年 12 月 21 日 (木) AM5 時 計 4 枚

カンヌ映画祭より歴史ある、国内で最も権威と実績の映画賞

第 78 回毎日映画コンクール



「怪物」「ゴジラ-1.0」「せかいのおきく」

「福田村事件」「ほかげ」

日本映画大賞・日本映画優秀賞候補作 5 作品決定!!

男優主演賞に、綾野剛、稲垣吾郎、鈴木亮平、藤竜也、横浜流星

女優主演賞に、安藤サクラ、黒木華、菊地凜子、趣里、杉咲花



「怪物」が、最多 9 部門ノミネート!

「せかいのおきく」が、8 部門ノミネート!

この度、国内で最も権威と実績、歴史のある映画賞「第 78 回毎日映画コンクール」の各賞のノミネート作品、ノミネート者が決まりました。「万引き家族」でカンヌ国際映画祭最高賞パルム・ドールに輝いた是枝裕和監督が、「今一番リスペクトしている」と語る脚本家の坂元裕二と初タッグを組んだ「怪物」が最多 9 部門ノミネート。

次いで貧しくもたくましく生きる長屋の住人たちを阪本順治監督がみずみずしく描いた「せかいのおきく」が 8 部門ノミネート。今年を代表する話題作、秀作、力作、優れた映画スタッフらが揃いました。受賞作(者)発表は来年 1 月下旬。是非、ご紹介のご検討をお願いいたします。



第78回毎日映画コンクールノミネート作品（者）一覧

【作品部門】

<日本映画大賞、日本映画優秀賞>

「怪物」「ゴジラ-1.0」「せかいのおきく」「福田村事件」「ほかげ」

<外国映画ベストワン賞>

「EO イーオー」「イニシエリン島の精霊」「キラース・オブ・ザ・フラワームーン」「TAR/ター」「フェイブルマンズ」「別れる決心」

【俳優部門】

<男優主演賞>

綾野剛「花腐し」 稲垣吾郎「正欲」 鈴木亮平「エゴイスト」

藤竜也「高野豆腐店の春」 横浜流星「春に散る」

<女優主演賞>

安藤サクラ「BAD LANDS バッド・ランズ」 黒木華「せかいのおきく」 菊地凜子「658 km、陽子の旅」

趣里「ほかげ」 杉咲花「市子」

<男優助演賞>

磯村勇斗「月」 宇崎竜童「BAD LANDS バッド・ランズ」 加瀬亮「首」

宮沢氷魚「エゴイスト」 永山瑛太「福田村事件」

<女優助演賞>

阿川佐和子「エゴイスト」 安達祐実「春画先生」 田中裕子「怪物」

広瀬すず「キリエのうた」 二階堂ふみ「月」

<スポニチグランプリ新人賞・男性>

アフロ「さよなら ほやマン」 池川侑希弥「雑魚どもよ、大志を抱け！」 黒崎煌代「さよなら ほやマン」

黒川想矢「怪物」 塚尾桜雅「ほかげ」 柗木陽太「怪物」

<スポニチグランプリ新人賞・女性>

アイナ・ジ・エンド「キリエのうた」 石田夢実「遠いところ」 サリ ngROCK「BAD LANDS バッド・ランズ」

当真あみ「水は海に向かって流れる」 東野絢香「正欲」 山崎七海「渇水」

【スタッフ部門】

<監督賞>

石井裕也「月」 是枝裕和「怪物」 阪本順治「せかいのおきく」 塚本晋也「ほかけ」
森達也「福田村事件」 山崎貴「ゴジラ-1.0」

<脚本賞>

足立紳、松本稔「雑魚どもよ、大志を抱け！」 荒井晴彦、中野太「花腐し」
佐伯俊道、井上淳一、荒井晴彦「福田村事件」
阪本順治「せかいのおきく」 坂元裕二「怪物」 港岳彦「正欲」

<撮影賞>

笠松則通「せかいのおきく」 鎌苅洋一「月」 川上皓市、新家子美穂「花腐し」
近藤龍人「怪物」 柴崎幸三「ゴジラ-1.0」 浜田毅「首」

<美術賞>

上條安里「ゴジラ-1.0」 瀬下幸治「首」 原田恭明「花腐し」
原田満生「せかいのおきく」 三ツ松けいこ「怪物」

<音楽賞>

坂本龍一「怪物」 佐藤直紀「ゴジラ-1.0」 ジム・オルーク「658 km、陽子の旅」
小林武史「キリエのうた」 安川午朗「せかいのおきく」

<録音賞>

志満順一「せかいのおきく」 高須賀健吾「月」 竹内久史「ゴジラ-1.0」
富田和彦「怪物」 深田晃「花腐し」

【ドキュメンタリー部門】

<ドキュメンタリー映画賞>

「生きる」大川小学校 津波裁判を闘った人たち 「カメラを持った男たち－関東大震災を撮る－」
「ケアを紡いで」 「劇場版 ナオト、いまひとりつきり」 「国葬の日」 「絶唱浪曲ストーリー」 「チョコレートな人々」

【アニメーション部門】

<アニメーション映画賞、大藤信郎賞>

「I stitch my skin to the ground」 「アリスとテレスのまぼろし工場」 「Our Pain」 「URAHARA – TEASER」
「丘にいる ft.VX-β」 「オクトポリス -プロローグ-」 「己踊り」 「君たちはどう生きるか」 「520」 「駒田蒸留所へようこそ」
「Sewing Love」 「ゾウのかたち」 「太陽が水を汲んでいる」 「月見ごっこ」 「並んだ LAND」 「ニンジンは待ってくれない」
「HIDARI」 「火の鳥 エデンの花」 「BLUE GIANT」 「北極百貨店のコンシェルジュさん」 「マイスクール」
「Magnified City」 「みじめな奇蹟」 「Monk SEISHIN」 「屋根裏のラジャー」 「ユーフラジー=モンタージュ」
「来世 ユニコーンの首筋後ろのホクロになりたい」 「La nuit des illusions (迷走の夜)」 「Return」

(50 音順)



毎日映画コンクール概要

毎日映画コンクールは 1946 年（昭和 21 年）、日本の映画産業の振興に寄与し、国民に映画の楽しさを広く伝えることを目的に、毎日新聞社とスポーツニッポン新聞社によって創設された国内最高峰の映画賞です。演技、作品はもちろん、撮影や美術、録音などのスタッフ、日本映画を代表する名女優田中絹代の名を冠する賞など、幅広い部門を設けていることが特徴です。

各賞は、第一線で活躍中の映画評論家やジャーナリスト、専門家など約 70 人が選考にかかわり、毎日映画コンクールはその歴史と伝統とともに、選考の厳正公明さによっても映画業界から高い評価を得ています。

第 75 回から表彰式の開催地は都内へと戻り、目黒区の協力を得て「めぐろパーシモンホール」での開催を予定しています。今後も、一般にも開かれた映画賞として毎日映画コンクールは成長を続けていきます。

第 78 回毎日映画コンクール

<対象作品>

2023 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに国内で 14 日間以上、有料で劇場公開された作品。
なお、アニメーションおよびドキュメンタリー部門は、同期間に完成もしくは上映された作品が対象です。

<表彰>

- ▽作品部門 = 日本映画大賞 日本映画優秀賞 外国映画ベストワン賞
- ▽俳優部門 = 男優主演賞 女優主演賞 男優助演賞 女優助演賞 スポニチグランプリ新人賞
- ▽スタッフ部門 = 監督賞 脚本賞 撮影賞 美術賞 音楽賞 録音賞
- ▽ドキュメンタリー部門 = ドキュメンタリー映画賞
- ▽アニメーション部門 = アニメーション映画賞 大藤信郎賞
- ▽TSUTAYA DISCAS 映画ファン賞 ▽田中絹代賞 ▽特別賞

<発表>

2024 年 1 月下旬の毎日新聞、スポーツニッポン新聞紙上

<表彰式>

2024 年 2 月 14 日、めぐろパーシモンホール（東京都目黒区八雲 1 の 1 の 1）

主催 毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社

共催 目黒区芸術文化振興財団

特別後援 カルチュア・エンタテインメント、CCC MKホールディングス

後援 経済産業省、文化庁、日本映画製作者連盟、映像文化製作者連盟、ユニジャパン、映像産業振興機構（VIPO）、目黒区

協賛 映画演劇文化協会、えがお、集中出版、スマイルコミュニケーションズ、セーフティステップ、東急グループ、東日印刷、ハナマルキ

協力 エース、黒谷美術、芸游会、サッポロビール、下関市（山口県）、シモンズ、Base KOM

<公式 HP> <https://mainichi.jp/mfa/>

【パブリシティ・お問い合わせ】：ブラウニー阿部 TEL:03(3351)1538 MAIL:info@eigapub.com

2024 年 2 月 14 日(水)、めぐろパーシモンホールにて表彰式開催予定